

科目名	外科学概論					
分野	専門基礎分野	担当教員	大竹 雅広			
開講時期	2学年 1・2学期	単位数	講義	実技	演習	実習
時間数	60		4			
科目の概要	<p>整形外科を除く外科系臨床科の概要を学び、外科的処置の必要性及び妥当性、処置を行った際の生体の反応について理解を深めます。講義は教科書に沿って進めます。最初に重要事項についての講義を行い、その後国家試験レベルの問題を通して、理解の定着をはかります。</p> <p>覚えるべき事項が多く、進度も速いので予習及び復習が必須です。</p>					
学習の到達目標	<p>外科学に関連する基本的な事項について学び、内容を説明できる。外傷なども含めた、頻度の高い疾患を理解できる。該当する分野で把握していないことがあれば、自身で調べて学習することができる。</p>					
成績評価の方法と基準	4択試験					
使用テキスト	外科学概論(南江堂) 改訂第4版					
参考文献						
実務経験を有する者	○					
講義計画	講義内容					
1	損傷① (損傷、創傷)					
2	損傷② (熱傷)					
3	炎症と外科感染症					
4	腫瘍① (基本的事項)					
5	腫瘍② (臨床的事項)					
6	ショック					
7	輸血・輸液① (輸血)					
8	輸血・輸液② (輸液)					
9	消毒と滅菌 手術					
10	麻酔					
11	移植と免疫					
12	出血と止血① (出血の基礎的事項)					
13	出血と止血② (出血の臨床例)					
14	心肺蘇生法					
15	総合評価(まとめ)					

16	脳神経外科疾患①（主要徴候と検査）
17	脳神経外科疾患②（主要疾患）
18	甲状腺・頸部疾患
19	胸壁・呼吸器疾患①（主要徴候と検査、および肺）
20	胸壁・呼吸器疾患②（縦隔新患と胸部外傷）
21	心臓・脈管疾患①（主要徴候と検査、および先天性心疾患）
22	心臓・脈管疾患②（後天性心疾患、他）
23	心臓・脈管疾患③（脈管疾患）
24	乳腺疾患
25	腹部外科疾患①（主要徴候と検査）
26	腹部外科疾患②（食道、胃十二指腸）
27	腹部外科疾患③（大腸）
28	腹部外科疾患④（肝・胆・膵）
29	腹部外科疾患⑤（その他の腹部外科疾患）
30	総合評価(まとめ)

(2024年度)